

### 1. 光・下松両市間を結ぶ幹線道路の新設について

【 新規 】

平成30年7月の西日本豪雨の教訓を踏まえ、特に重点的に取り組む必要がある代替道路は、光市と下松市の間を結ぶ新たな幹線道路です。

海岸沿いにある国道188号が、光市と下松市の両市街地間を結ぶ唯一の主要幹線道路となっていますが、自然災害に対して脆弱であることや、迂回道路が遠方になることなど、ひとたび通行止めになれば、通勤や買い物、救急搬送などの市民生活はもとより、人や物資の輸送・運搬などの企業活動、ひいては周南地域全体の経済活動にも重大な影響を及ぼします。

つきましては、周南道路と併せて、是非とも両市の内陸部に幹線道路が新設されますよう、関係機関への強い働きかけをお願いいたします。

### 2. 災害復旧貸付資金の創設について

【 新規 】

昨年の西日本豪雨災害では、当所管内事業所において、設備の破損や休業を余儀なくされるなど、一時的な業況悪化による資金繰り等に支障をきたしました。

本年も台風15号や19号など、これまでの常識や予想を上回る大きな自然災害が全国各地で生じています。

被災した事業所が、物的、人的損失から立ち直るためには、多くの時間と多額の費用が必要となります。

つきましては、台風、地震や大規模な火災などの災害を受けた中小企業者の事業の復旧を促進し、被災地域の復興を支援するため、光市中小企業制度融資に加え、被災に伴う低利で迅速な融資（災害復旧貸付資金）の創設をお願いいたします。

### 3. 無料Wi-Fi環境の整備について

【 新規 】

無料Wi-Fi環境については、現在、冠山総合公園管理事務所等に設置されておられますが、観光客等が光市の情報を入手しやすく、またSNSを利用した情報発信がしやすい環境づくりのためにも、更にWi-Fi環境の整備が必要であると思われれます。

つきましては、市内各観光スポットへの設置について、ご検討をお願いいたします。

#### 4. 消費税率増加に伴う景気影響の緩和対策の実施について

本年10月1日より、消費税率が8%から10%へ引き上げられ、同時に軽減税率制度が実施されました。政府では、プレミアム商品券販売やキャッシュレスポイント還元などの景気対策を実施していますが、当市においても、消費者の家計負担の増大や、これに伴う買い控え傾向の増大による消費の低迷、経済の縮小が大いに懸念されるところです。

これらの動向を踏まえ、市内中小企業者に向けた景気対策など、消費税率増加に伴う影響緩和の支援をお願いいたします。

#### 5. 「光まちゼミ」事業への支援について

当所では、商業の活性化策として、昨年度より大和商工会との連携のもと、全市をエリアとする「光まちゼミ」事業を実施しています。

当事業は、店主が講師となり、受講者（顧客）に、無料で専門知識や実技体験を提供する少人数制のゼミであり、お店・顧客・まちを繋ぐコミュニケーションツールとして、本年度も昨年度を上回る30店舗が参加のもと、11月に各講座を実施いたします。

つきましては、次年度以降、効果的かつ継続的に実施するためにも、本事業に対する補助金並びに広報等について更なるご支援を賜りますようお願いいたします。

#### 6. 創業並びに事業承継への支援について

日本経済は景気回復期間が続いているものの、地域経済への波及にはいまだ時間を要する見込みであり、市内中小企業・小規模企業者数は、経営者の高齢化の進展や後継者不在の高まりに伴う廃業等により年々減少し、地域経済・地域社会の活力喪失が大きく懸念されています。当市における雇用の受皿となる事業所数の維持を図るためには、創業・事業承継対策は喫緊に取り組むべき重点課題であります。

つきましては、創業の更なる増加と円滑な事業承継を促進するため、市独自の補助金制度を創設するなど、更なる支援拡充について、格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

## 7. 小売・卸売業者への優先発注について

光市が調達する物品納入については、地元企業への優先発注にご配慮をいただいている中であって、更なる企業努力により地元受注割合の増加に努めたいと考えております。

つきましては、地場産業の育成並びに地域循環型経済の構築を目指す「愛 LOVE ひかり大作戦運動」の趣旨をご理解賜り、市が発注する印刷物や資材をはじめとした物品並びに役務等について、可能なものについては発注業者を市内に限定するなど、更なる地元企業への優先発注について努めていただきますよう、引き続き特段のご配慮をお願いいたします。

## 8. 市内業者最優先での公共工事の発注について

建設業は、裾野の広い産業として、地域経済の中で大きな役割を担っています。また、災害時には先頭に立って復旧復興に務めるなど、安全・安心な市民生活を支える上でも重要な役割も果たしています。

市においては、厳しい財政環境の中であって公共工事などの投資的経費について、財源の工夫などによる事業確保等にご配慮をいただいていると存じます。

つきましては、今後とも国・県の助成事業、補助事業に係る発注機会の増大を図ると共に、地元企業の育成のためにも地元企業への優先発注について、引き続き特段のご配慮をお願いいたします。

## 9. 入札制度の見直しについて

お願いしておりました最低制限価格の引き上げについては、一定の改善をしていただき、厚く感謝申し上げます。しかしながら、国や県と比較すると、まだ引き上げの余地があると思われますので、引き続きご検討をお願いいたします。

また、建設工事の競争入札において、一部ではありますが、入札者が異議申立てできる積算内容確認期間を設けていただき感謝申し上げます。積算確認期間終了後、低入札価格調査を行う案件については、結果がわかるまでに日数がかかれば、主任技術者の配置や、下請けや労働者の確保が定まらず、結果として別工事の入札の参加の見送りや他工事受注の逸失など、会社の業績に影響を及ぼします。低入札調査後の落札、不落札の通知については、今まで以上に早期に判断をしていただき、通知をいただきますようお願いいたします。

## 10. 発注時期の平準化等について

光市においては、厳しい財政環境の中にあつて、公共工事に対する適正な積算履行ほか地元発注など、多々事業配慮をいただいているところであります。しかしながら建設業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。特に若年労働者や技術者、技能職における人手不足と資材の高騰は深刻な問題であり、現在の公共工事においては、発注が同時期に集中するため、社員や専門工事業者の休日出勤や長時間残業による業界離れや、採算を度外視せざるを得ない専門工事業者の確保、資材の調達などの現状が多く見受けられます。

つきましては、工事の品質を向上させ良質な社会資本整備につながるよう、引き続き発注時期の平準化及び工事規模に応じた適切な工期を設定していただくようお願いいたします。

## 11. 賑わいを創出する市内イベントへの支援について

光まつりは、新市誕生を市民総参加で祝い楽しむことを目的に、毎年新市が誕生した10月に開催をしております。本まつりは、市内最大のまつりとして市民に定着しており、来年度開催の「2020光まつり」に対しても、これまで以上のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、室積商店会は「みたらい湾花火大会」・「Hikari グルメグランプリ」、浅江商店会は「ひかるちゃんの桜まつり」などを実施し、市内外から多くの皆様にご来場いただくなど、賑わいの創出に結びついておりますことから、両商店会に対しても引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

## 12. 観光対策について

当市は、自然や歴史・文化に育まれた多くの観光資源を有しています。冠山総合公園、伊藤公記念公園などの観光拠点のネットワーク化を促進すると共に、市内全域に亘る観光振興についてご尽力いただきますようお願いいたします。

更には、室積・虹ヶ浜両海岸や峨嵋山をはじめとする自然環境と石城山神籠石、伊藤公記念館、室積海商通り及び早長八幡宮祭礼の山車などの歴史遺産などを広域的に組み合わせた体験型・滞在型観光の促進をお願いいたします。

加えて、「周南広域観光連携推進協議会」の事業を強化すると共に、広域観光事業の振興と観光誘客の推進についても、ご支援を賜りますようお願いいたします。

### 13. 光市中小企業制度融資の改正について

光市中小企業制度融資は、設備投資促進資金や事業承継資金を創設していただき、新規申込や相談に至るなど、利用者から一定の評価をいただいております。しかしながら、金融緩和を背景に、従前に比べ市場金利が低下し、一般の民間金融機関融資に比べ、制度融資金利が現況にそぐわなくなっております。

つきましては、事業者にとってより利用しやすい制度にするため、金利見直しや返済期間の延長など、効果的な制度の改正についてご検討を賜りますようお願いいたします。

### 14. 周南道路の早期実現について

周南地域の主要な交通拠点と企業集積拠点等を結ぶ地域高規格道路「周南道路」は、平成10年6月に「候補路線」に指定され、圏域内交通の円滑化や広域交流の活性化をはじめ、瀬戸内の産業力強化と防災の向上に大きな役割を担う極めて重要な都市基盤です。

また、光市と下松市を結ぶ主要幹線道路は国道188号に限られており、昨年の西日本豪雨のような大規模災害の際に、代替えとなり得る路線の整備は急務であります。

つきましては、産業振興、観光推進、地域住民の安全性の上からも、「周南道路」の早期実現について、国・県に対し強い働きかけを賜りますようお願い申し上げます。

### 15. 自然災害への対策強化について

昨年の西日本豪雨災害において、島田川は氾濫危険水位を超え、光市では住宅・店舗の床上・床下浸水、道路や河川の被災をはじめ甚大な被害を受けました。

島田川については、県において被災箇所が復旧され、再度災害防止のため、河道掘削などが行われているところですが、近年では、今まで経験したことのない自然災害が多く発生しており、予測のできない多大な被害が懸念されています。

つきましては、国・県と連携のもと、自然災害への対策強化について、更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

## 16. JR光駅の橋上化と周辺の都市開発について

駅はその街の玄関口であり、駅とその周辺が活性化すれば、にぎわいが創出され、市民生活がより豊かなものになります。

市では、第2次光市総合計画「光・未来創生プロジェクト」の具現化に向け、平成31年3月に光駅周辺地区拠点整備基本構想を策定され、光市にふさわしい魅力ある都市空間づくりに向けた整備の全体像や方向性を示されました。

さらに今年度から、光駅拠点整備基本計画の策定に着手され、「光駅拠点整備デザイン会議」などでの議論のもと、駅や駅前広場などの整備に向けた具体的なプランづくりを進められています。

つきましては、駅とその周辺の利便性や安全・安心の向上はもとより、定住人口や交流人口の増加、地域経済の活性化など、多様な効果をもたらす本事業の早期実現に向けて、更なるご尽力を賜りますようお願いいたします。

## 17. 周南都市計画道路「川園線」の早期着工について

県においては、社会資本整備総合交付金事業の整備事業として、都市計画道路「川園線」ほか1路線の整備を進められています。川園線は、市内中心市街地を南北に通過する幹線道路で、安全で快適な歩行空間の確保や交通渋滞の緩和などを期待しているところです。

つきましては、川園線着工に向けた取り組みが早期になされますよう、引き続き県への働きかけをお願いいたします。

## 18. 瀬戸風線の早期開通について

瀬戸風線は、地域経済の活性化や活力ある街づくり推進のための幹線道路として、極めて重要な路線です。県において、仮設作業道路の工事に着手されるなど、着実に進捗していると拝察しているところです。

つきましては、産業振興、観光推進、地域住民の安全性の上からも、早期完成に向け、引き続き県への働きかけをお願いいたします。

## 19. 市補助金の安定的な交付について

商工会議所は、「地域商工業者の総合的な改善普及を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国経済の発展に寄与する」ことを目的に事業活動を展開しており、その事業の多くは公共性が高く、本市経済活性化の一翼を担っているところで

つきましては、それぞれの事業の目的を達成するためにも、補助金の増額交付をお願いいたします。